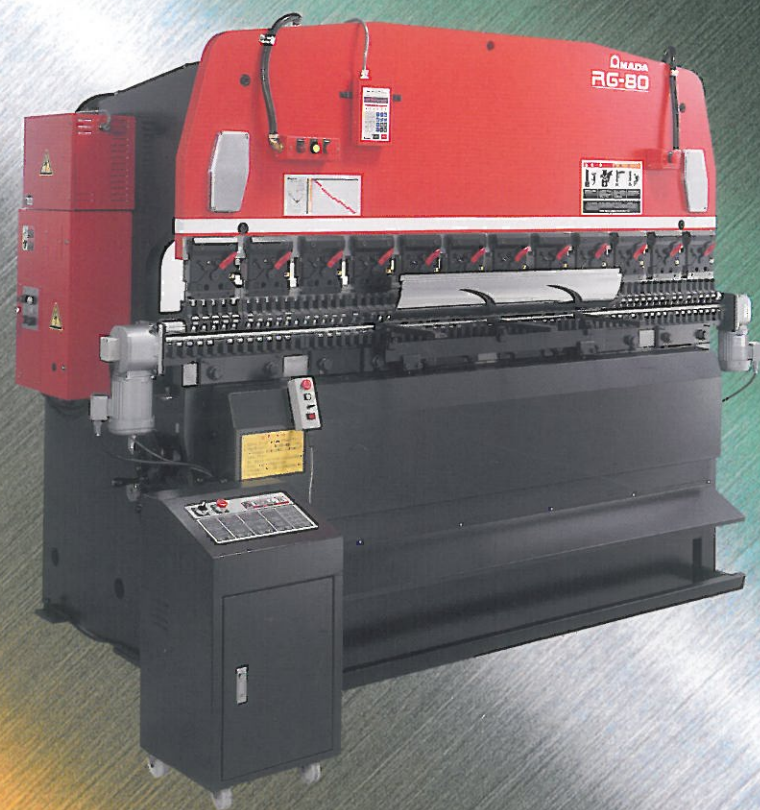
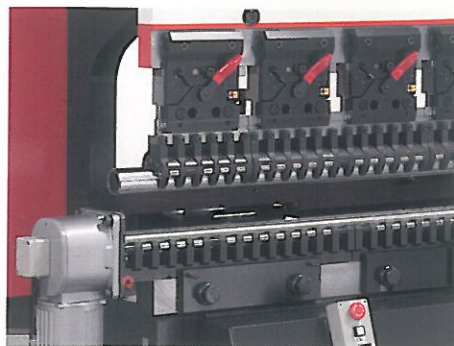




さまざまなビルが彩る現代都市。
建築デザインが、より個性的になるなかで、
ステンレスR曲げによる外壁・装飾が、
ひととき視線を奪います。
しかし、大きなR曲げは、「作業が面倒」
「精度が出ない」「コストがかかる」など
多くの課題をかかえ、難しい仕事のひとつ
とされていました。
そこで、ロール・アール曲げ金型の登場。
お手持ちのベンダーに取り付けて、
簡単に、美しいR曲げ加工が
できるようになります。
さあ今日から、新しい街づくりに
参加しませんか。

- アール曲げ加工時間を大幅短縮
(突き曲げ加工の1/5：当社比)
- 製品のキズ・押しあとを一気に減少
- 加工中に作業者の材料支持が不要
- 均一なアール寸法の調整が容易
- 機械への取付け・取外しが簡単



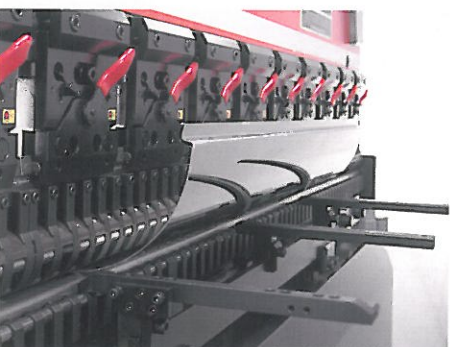
①ベンダー下部テーブルにダイロール、上部テーブルにパンチロールを取り付けます。



②材料の端をはさみ、ロールを回転させて「端R曲げ(ハナ曲げ)」を行います。



③必要に応じ、通常の90°曲げ用金型で、フランジ部の加工を行います。



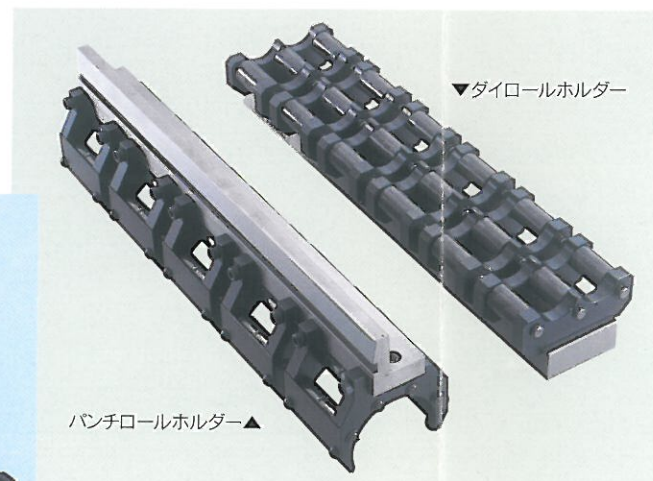
④再び材料をロールではさみ、3往復程度させて、所定のR寸法になるまで加圧します。このとき、あらかじめ作っておいたRゲージでR寸法を確認しながら作業を進めます。
ゲージで寸法を確認したら、Rの中央付近で回転を止め、製品を取り出します。

往復送りで曲げるから、素早く均一

- 小アール(50R)タイプをシリーズ化!
- 従来の1.5倍の送り速度を実現!



Aタイプ(最小≧50R)



Bタイプ(最小≧80R)

※最小径はフランジの寸法・形状によって異なります。



※掲載の写真は、ロール・アール曲げ金型による建築構造物の一例です。